



六郷中だより

六郷中学校だより 第8号
令和 4年12月 7日
発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



「振り返り」と「新たな決意」となる節目！

2学期、さらには一年のしめくりとなる12月を迎えました。12月には、学習活動のまとめとしての期末テストや個々の学校生活全般を振り返る三者懇談が予定され、2学期の最終日となる12月23日の終業式をもって今学期が終了となります。これからの終業式までの日々は、様々な振り返りとまとめを行いながら、次に目ざすべきものは何かを考える節目の時期を迎えています。

昨日（12月6日）、本校では来年度の生徒会役員を決定する、生徒会役員選挙の立ち会い演説会と投開票が実施されました。立ち会い演説会は、新しい生徒会活動のリーダーとなる候補者が、これからのよりよい学校生活を目指して、自らの考えを生徒たちに訴える機会となり、他の生徒たちは、その訴えをとおして、今までの学校生活を振り返り、これからの六郷中学校や自分たちのあるべき姿に向けて、新たな決意を考える機会となるはずです。そういった意味では、生徒会役員選挙も学校生活において、新たな成長のきっかけとなる節目の活動の一つです。

そんな「振り返り」と「新たな決意」となるよう願いを込めて、候補者ならびに応援者の演説に先立ち、次のような言葉を全校生徒に伝えました。

12月となり、六郷中学校の周辺の木々がいよいよ冬枯れの装いに移り変わってきました。さて、あと3週間で2学期の終業式となり、さらに1週間後には、早いもので一年のしめくりとしての大晦日を迎えます。

暦の上で12月は大きな節目としてのしめくりの時期となります。私たちはそういった節目を活動や取組の中にうまく取り入れながら、節目の先にある新たな段階や次のステージに向かって、さらに一步前に進み、成長した姿をイメージし、新しい目標、新しい活動の実現を目指して生活しています。

これから行われる立ち会い演説会では、新しい六郷中学校のリーダーを選出するにあたり、学校生活の主演であり当事者である生徒の皆さんが一堂に参加し、六郷中学校の新たな段階や次のステージ向かっていくために、これからの新しいリーダーとなる候補者の皆さんから、六郷中のよりよい未来、あるべき姿の考えが皆さんに伝えられます。

今日、この場で候補者からの考えを聞く側の皆さんは、新しいリーダーからのこれからの六郷中をよりよくしていくメッセージとして、ぜひ、受け止めてみてください。そして、ここにいる生徒全員が、一步前に進んだ姿や成長した姿をイメージすることができたなら、今まで、様々な困難を乗り越えてきた六郷中の生徒会活動を土台に、新たな六郷中の未来を築くことができるはずです。

今日の生徒会選挙の立ち会い演説会と投票は、そういった意味では皆さんのこれからのよりよい学校生活に向けて、六郷中学校の進むべき方向を皆で確認していくとても大切な、そして大きな節目となります。

これからの立ち会い演説会が、六郷中学校の新しい未来に向けてのスタートとなり、よき節目となるよう期待しています。候補者の皆さん。応援者の皆さん。未来に向けての演説、頑張ってください。

引き続き行われた、会長候補者ならびに副会長候補者の演説においては、「笑顔のあいさつをとおして、学校全体を明るくしたい」「あいさつを習慣化したい」「あいさつの大切さを知ってもらいたい」など、共通して「あいさつ」をきっかけにした、よりよい六郷中の未来に向けての考えが発表され、その後の投開票では、数多くの信任をもって生徒会役員が決定し、来年度に向けての六郷中学校の新しい未来に向けてのスタートが切られました。